

宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕（別冊資料）について

1 はじめに

昨年度の宮城県防災会議（平成25年2月1日）において、宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕が修正されたことを受け、別冊資料についても関係機関の協力により資料10のとおり取りまとめ、宮城県防災会議原子力防災部会及び宮城県防災会議幹事会議において報告したところ。

2 別冊資料修正の概要

昨年度新たに「原子力災害対策重点区域」を導入したことから、別冊資料についても、従来のEPZ（防災対策重点地域）の範囲から、UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）の範囲に係る記載に拡大することとし、必要に応じて資料を新たに作成し直した。

その他、従来の別冊資料から追加・変更等を行った主な事項は以下のとおりである。

資料番号	資料名※	変更事項等
1-2-2	事業者防災業務計画	H25.3.18 修正版に更新
1-7-1	関係機関による応援協力	H25.9.2 原子力防災会議幹事会（国）による原子力災害対策マニュアルの内容を反映
2-3-1～2-3-5	人口に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-6～2-3-16	輸送に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-17～2-3-22	施設に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-23～2-3-24	物資等に関する資料	更新
2-3-25～2-3-31	気象・モニタリング等に関する資料	県データを更新
2-3-32～2-3-40	食料等に関する資料	UPZに係る新規作成及び一部更新
2-3-41～2-3-45	通信設備等に関する資料	UPZに係る新規作成及び更新
2-4-2, 2-10-1	資機材等に関する資料	最新の保有数等に更新
2-5-1～2-6-4	設備・機器等に関する資料	更新
2-15-1	線量換算係数等に関する資料	新規追加
3-2-5	通信連絡先に関する資料	更新
3-2-6	EAL/OILに関する資料	新規追加
3-4-1～3-4-3	防災体制に関する資料	関係課所と協議の上で修正

※略称等を用いて簡略化した名称としている

3 今後の対応

本日、地域防災計画〔原子力災害対策編〕（本編）の修正について御承認いただいた場合、修正後の計画を踏まえて、引き続き見直しやデータ更新などの必要な対応を行う予定である。